

1. 件名：「トランスニュークリア（株）特定兼用キャスクの型式証明申請に関するヒアリング【10】」

2. 日時：令和5年11月22日 15時30分～17時00分

3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室

4. 出席者（※・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

岩澤安全規制調整官、寺野管理官補佐、松野上席安全審査官、櫻井安全審査官※

（核燃料施設審査部門）

甫出安全審査官

（システム安全研究部門）

後神主任技術研究調査官

トランスニュークリア株式会社：シニアバイスプレジデント 他2名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

資料1-1 発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明申請 コメント管理表及びコメント回答

資料1-2 発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明申請 設置許可基準規則への適合性について（第十六条関連）

資料1-3 補足説明資料 16-1 16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設

資料1-4 補足説明資料 16-2 16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 臨界防止機能に関する説明資料

資料1-5 補足説明資料 16-3 16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 遮蔽機能に関する説明資料

資料1-6 補足説明資料 16-4 16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 除熱機能に関する説明資料

資料1-7 補足説明資料 16-6 16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 材料・構造健全性（長期健全性）に関する説明資料

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	規制庁の松野です。それでは時間になりましたのでただいまより、トランスニュークリア照明のヒアリングを始めたいと思います。
0:00:14	本日は、前回の審査会合のコメント回答の資料を用意していただきましたので、また資料に沿って説明をお願いいたします。
0:00:25	はい。トランスニュークリアの下条です。すみませんちょっとご説明入る前にですね 1 枚資料の
0:00:33	訂正といいます差し替えをちょっとさせていただく類です。1 枚ものでお配りしてますけれども除熱解析の除熱に関する補足説明資料の
0:00:43	13 ページになります。
0:00:46	で、そのですね、
0:00:49	518.2 って括弧書きのところですね、518.2 という数字がですね、ちょっと主に修正をさせていただきたいと。
0:00:59	いうことでございます。
0:01:03	事前にお送りした資料では、ちょっと違う数字が書いてた。
0:01:15	は、えっとです。
0:01:17	へえ。
0:01:18	ちょっとマスキングなので、後で削除して、いや、
0:01:25	500、
0:01:26	アノ。
0:01:27	オリゲンの発熱量 2、1、誘導、1.05 倍っていう度をかけるんですけどもそれを、掛ける数字オカかけたやつを書くかかける前の数字を書くかっていうので、
0:01:40	この資料のですね、受
0:01:42	補足説明資料の、
0:01:44	除熱の補足説明資料の 1、資料 1-6 ですね、今日の資料番号で 1-6-11 ページを見ていただき、
0:01:54	あれば、
0:02:01	補足説明資料の除熱の補足説明資料の、
0:02:05	11 ページでですね、
0:02:08	ここに式が書いてあって、1 堀江の裕度 1.05 倍と、収納体数、
0:02:17	この式で、
0:02:19	かけて 1 体当たりの
0:02:21	発熱量っていうのを計算するんですけども、ですので、ここに書く発熱量というのは 1.0 倍する前の数字を書かないといけなかったんです。は

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	い。それちょっとこちらの表の中に、105 倍した後の数字をちょっと書いていたので、ちょっとそこ、
0:02:37	この場でせず、訂正をさせていただきますということでございます。
0:02:45	はい。そうでしたら、
0:02:49	コメント管理表及び資料 1-1 ですね、パワーポイント式の
0:02:56	2、
0:02:57	従って、ご説明させていただきます。必要に応じてその他のワード形式の
0:03:05	説明資料も使ってご説明させていただきたいと思います。まずコメント管理表で、1 ページ目と 2 ページ、2 ページ目 3 ページ目のところで前回審査会合で回答したところは、
0:03:20	グレーのハッチングをかけてございます。で、新たに 7 番 8 番 9 番ですねコメント No. 789 でコメントいただいた部分を、白でオープン状態で本日回答ということでございます。
0:03:33	その紙、次のページ以降で今回、ヒアリングの場でいただいたコメント回答ですね、オープンになっているものが、6 ページの
0:03:44	5-6、七、中性子の MCNP の
0:03:48	説明で中性子のレームカウンターのサイズとかの影響というのが、567 になります。
0:03:56	ページをめくっていただきまして 10 ページ目にですね、36 の、
0:04:03	2 になりますけれども、これが
0:04:08	ヒアリング、この前回のヒアリングのオオバでトランニオンの
0:04:13	下部トランニオンを固縛するところのねじ部ですね、のところに、年圧力具が作用するのではないかというコメントをいただいた件について、
0:04:24	が 1036-2 になります。
0:04:27	はい。これらについて
0:04:30	ご回答いたします。
0:04:32	パワーポイント、一応 1-1 で 11 ページです。
0:04:37	11 ページは、隣家のパラメーターサーベイの計算に関するコメントです。バスケットの格子内の燃料配置の条件が 1077 燃料冠水状態に 16 体収納した場合の条件と異なっていると、その点、
0:04:55	考え方について補足することということでございます。回答としましては、どうもここに書いてある通りですけれども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:05	あとパラメータサーベイの4体ですね、燃料を集合体4体のパラメータサーベイをしていますけれどもその上限としたバスケットの格子内で燃料配置が、
0:05:15	中心変更ですね、
0:05:18	体系の中心側に寄ってると。
0:05:21	中心集まるような配置になっています。一方1077-26体冠水状態の条件というのは燃料が格子の中を配置となっていると、ということなんですけれども、
0:05:33	これ今回の追加で実施した4対燃料集団運転パラメータ計算ではその1077年度1055燃料の相互作用の影響を評価をするというのが目的ですので、
0:05:46	この4体の体系で一番反応度が高くなる中心変更に統一したということでございます。
0:05:54	はい、という趣旨のことを、補足説明資料16-2の方に追記をいたしてございます。
0:06:03	はい。次が12ページで、審査会合のコメントナンバー8番です。これ被覆管の100MPa以下を満足する条件と評価結果を示すことで
0:06:14	その際の条件は、ルーズ解析の条件と整合性を図ることということでコメント、審査会合でいただいたコメントになります。
0:06:22	まずですね、1番目ですけれども初音今回ですね、この百名はPASCAL以下を満足する条件とするために、
0:06:32	アノ1055燃料のみを収納する場合またはその1055と10、10771055燃料を混載する場合ですねキャスクに収納する、燃料の発熱量を制限すると。
0:06:48	いう条件を今回追加することにいたしました。
0:06:52	で、その
0:06:53	制限の条件というのがその下に書いてある、
0:06:57	三つの条件になります。全体キャスク全体に行き当たりの発熱量の制限、
0:07:05	が一つありまして、中央部、
0:07:08	呉の①番の領域に収納するは、燃料の発熱量の制限と外周部、②番の領域に収納する燃料の発熱量、それぞれ、
0:07:18	ここに記載の通り、制限するというところでございます。
0:07:24	そういうふうに加えて、実際の皮膚管の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:30	圧力と、あとその圧力を用いて応力を評価したということでございます。13 ページに参りまして、被覆管の内圧の評価は、
0:07:41	今回、合理的な評価をしたいということで、3 次元の熱解析モデルの結果を用いて評価をいたしました。
0:07:52	1 番目(1)番で 3 次元モデルの最終の結果から、最も温度が高くバスケット中央部のニシノサイトウ燃料の軸方向の分布を抽出しますと、
0:08:04	燃料集合体の軸方向、ここの 1 から 7 までの断面、
0:08:08	アマノ、
0:08:10	表の 1、8-1 の方に、と書いてございますけれども、その各断面において、その燃料のですね周囲のバスケット格子材の温度を抽出しますと、
0:08:21	その 2 で、(2)で修正したバスケットの大河内 材の温度を境界条件として、燃料集合体モデル、
0:08:30	を用いて非封緘の最高温度評価をします。
0:08:34	ということです。4 番目に燃料集合体飯野を各断面で、中間の最高温度をもとにして、上記 1 で求めた燃料集合体手法等の分布に合わせてですね、
0:08:49	燃料有効部と上部プレナム部のそれぞれの領域を区分分けした領域についてそれぞれの温度を求めますと、ということです。
0:08:59	5 番目で、そのようにして求めた温度と、
0:09:04	あと皮膚科の、その領域の空間体積、TI頭部以外と、あと、その平均的な期間内の圧力、PA、
0:09:15	を基にして、ここで書いてありますような平均的な圧力Paを、を求めるということをいたします。
0:09:24	で、このPAを求めますと、先ほどの 8-2 の記載の一番下になりますけれども、の値のような圧力ないやつになると、ということで、
0:09:36	次のページに参りまして内圧を用いまして、被覆管の周方向応力を薄肉円筒の式ですね、
0:09:47	PA平均、穴井谷津がPAで、ヒューマンの平均径がDを、それを中間の圧力のPの二倍で割ると、
0:09:57	この式を用いて評価をした結果、
0:10:00	が、そのP14 ページの下のところ、江藤力消防力結果ということで記載してございます。この結果から、1077 燃料中 55 燃料ともに、
0:10:15	百名PASCAL以下の制限値を満足すると。
0:10:19	という結果がえられたということでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:23	はい。これらの計算するときの発熱量の設定というのが 1077 燃料だけの場合は、従来の除熱解析で用いる発熱量をそのまま、
0:10:34	で評価した結果になっています。1055 燃料の方につきましては先ほど冒頭申しましたように、発言する制限を追加した、その制限を
0:10:46	用いた発熱量で評価をした結果でございます。
0:10:53	ですので 2 次元モデル、除熱解析の方では全体モデルと輪切りモデルと、燃料集合体モデルっていう、それぞれ
0:11:03	二次元モデルの組み合わせのようにして、被覆管の温度を求めているんですけども、今回全体的に合理的に 3 次元のモデルを使っているというところは違いますけれども、
0:11:15	発熱量の設定ですとかいろんな熱物性の与え方とかっていうのは、基本的には除熱解析で与えている条件と同じと。
0:11:27	解析モデルだけが 3 次元モデルを使って合理的な評価をしているという点が違うと。
0:11:34	ということですので、評価条件としましてはソネ数、解析の条件と、製法を取った形で評価をしていると、いうことでございます。
0:11:46	はい。衛藤。次に、15 ページに参りまして審査会合コメントのナンバー9 です。これ先に申し、ご説明いたしました被覆管応力が 100 枚 PASCAL 以下を満足できないということになった事象について、
0:12:02	原因とQMSの対策、また水平展開について説明することというコメントでございます。
0:12:11	はい。回答になりますが、をまとめてございます。発生事象については、
0:12:21	というか 1515 年度の方ですけれども、圧力の初期の圧力、
0:12:26	の設定が適切でないことから 1515 年度で制限値 100MPa 以下は満足できないことがわかったという事象でございます。2 番でその発生原因ですけれども、
0:12:38	その被覆管の初期内圧条件というの外部の方から提示を受けているものに、条件になります。その条件が当初、提示された条件があったんですけども、その後改定されました。
0:12:54	改定されたことに簡単に気づけなかったということでございます。
0:13:00	その初期条件の合図呉の条件、外部から提示を受けたその条件ですけれども、設計開発文書としてっていうか設計のインプットのデータの文書として、
0:13:13	識別して、きちんと社内の図書として管理ができていなかったと、いうことでございます。そのために、後から改訂して出てきた図書の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:26	を、改定されているということに、気づくことができなかつたと。
0:13:32	ということです。対処といたしましてはさっき、コメントNo. 8 で申し上げたように、1055 燃料を収納する場合の条件を見直しをすると、具体的には発電するような制限を追加して設定するというにいたしました。
0:13:48	4 番目で、今回の水平展開、括弧して類似の不適合の分というふうに書いてございます。本件以外の評価条件につきましては外部から提示された設計条件が正しく
0:14:02	制定されているということを確認をしております。社内で確認いたしました。
0:14:08	なおですねTK26 型につきましてはサイト内貯蔵容器としても、型式証明をすでに取得しているんですけども、設計としましては本申請の容器と全く同じであるため
0:14:22	今回の不適合に関する対象、3 番の対象になりますけども、と同じ対象をとるということになりますということです。
0:14:31	5 番目で本件に対する是正処置でございます。
0:14:36	で、弊社のを設計管理に関する社内の規定がございます。その中に外部から提示された設計条件を設計開発文章として発行すると。
0:14:49	確実に識別管理、識別して管理することを明記して改定すると。
0:14:55	ということでございます。また本件事象の不適合報告とその是正処置について社内の関係者に対して周知徹底すると、ということで保険の一連の
0:15:09	処置。
0:15:10	是正処置対応を行うということでございます。
0:15:14	はい。
0:15:15	ナンバー9、コメントナンバー9 番については以上です。
0:15:19	次に、10 規制庁松末。
0:15:22	ここまでちょっと一旦CAQわかりました。次の方に入りたいと思いますけども、
0:15:28	ちょっと、
0:15:30	この資料 1-1 の、
0:15:32	11 ページ目の、
0:15:34	この審査会合コメントNo. 7 の、
0:15:37	この
0:15:40	委員会の 17 年度のこの 26 体の収納した伴市のその考え方ですけども、これ前回の審査会合で、
0:15:49	会合での指摘事項ではなくて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:52	一応、回答内容は、事務局ヒアで確認することになってますので、今後 次回の審査会合に、
0:16:00	ついてはこの資料からは、
0:16:02	全うしていただけてます。今回のヒアリングのために用意した資料って いうこと。
0:16:09	です。
0:16:10	その理解でよろしい。
0:16:12	Tnシモジョウです。承知いたしました。はい。
0:16:18	この点について、何か質問確認事項あればお願いします。
0:16:27	櫻井さんから何かありますでしょうか。
0:16:39	あ、すみませんミュートしてました。
0:16:51	サクライさん。
0:16:54	聞こえてます。今聞こえて今聞こえました。
0:16:58	すみません。
0:17:01	私、
0:17:03	の方から、
0:17:19	今記載し、資料 1-1 の 12 ページですけど、
0:17:27	この収納、年燃料集の時の、
0:17:32	この発熱量を変更することについては、その施設側への条件になるって いう認識でいいんですよね。
0:17:41	という確認をしたいんですけど。
0:17:45	トランスニュークリアシモジョウ説はい、そうなります。
0:17:50	資料の 16-1 の配置制限の下に追加で帰ってもらっている、赤字の
0:17:58	キャスク引退の初熱量とかあれがそのまま、変な話補正に、
0:18:06	の記載になってくってことですかね。
0:18:10	TMシモジョウですはい。その通りでございます。
0:18:14	はい、わかりましたありがとうございます。
0:18:20	規制庁松野です。
0:18:23	コメントNo. 7 については以上でして、次にコメントNo. 8 文で出荷能力 の 100 円カセ以下に関して何か。
0:18:32	質問、確認事項ありましたらお願いします。
0:18:39	すみません規制庁の方ですけども、
0:18:45	まずですね
0:18:50	まあ、あの温度の方からなんですけれども、
0:18:56	ちょっと順番テレコンなるかもわかんないんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:58	申し訳ない。
0:19:01	当初、今回のパート資料の 14 ページのところでも示していただいている、多分 1077 の温度なんですけど、
0:19:17	弱い。
0:19:18	ここの温度と、前回の審査会合のときも申し上げました。255 ですかね。
0:19:26	というところが、そういう数字っていうのは求め方が違うんです。わかるんです。
0:19:32	ただ、ここ幾ら参考と書かないと。
0:19:36	でも、
0:19:37	被覆管最高温度が要はこの一つの 6 名とナカ
0:19:50	要は、
0:19:51	使い分けとか何とかじゃなくって、
0:19:54	一つの考え方を申し上げますと、
0:19:57	統一して、例えば、
0:19:59	こちら、
0:20:02	ベース解析で、そこまでの計算おやりになってですね、一応今までは、輪切りのある最高温度断面かなんかで、
0:20:12	要はバスケットの壁面か何かを境界条件にして評価されたっていう
0:20:20	それを 3 次元に広げ
0:20:24	ているんですけども、
0:20:26	そこまでやられてるんであれば、その温度を設計、
0:20:32	その被覆管の最高温度としてですね除熱解析で明記すべきじゃないかなと、いうふうに考えるんですけども、その辺はいかがお考えでしょうか。
0:20:42	新しい暮らしモリです。
0:20:44	除熱解析の方評価している温度っていうのはあくまでも、いくつかの全体モデルでまず計算で、輪切りモデルで計算してあげるモデルから、
0:20:56	燃料集合体モデルに、どんどん
0:20:59	局所的に、
0:21:02	評価するポイントを絞り込んでいて燃料費呉管の温度を評価してますで、それぞれですね輪切り、全体モデル、輪切りでも輪切りモデルにする状態、そういうところ、いくつかのプロセスの中で保守性をそれぞれ、
0:21:16	ところで保守性を見込んで、評価をしてその除熱解析自身はその幾つかの、そういうせ、解析のプロセスの中で、保守性を見込んだ、設計をし評価をしていると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:28	あくまでも医師保守的、保守性を見込んだ評価をしているということです。今回の皮膚カノウ大井の評価の時の温度というのは、
0:21:38	それは、
0:21:41	そういう保守的な、
0:21:43	表コウノの評価す除熱解析やったら 250 ゴトウになるんですけどもその 255 の温度というのは、本当に一番厚い断面の温度になりますので、
0:21:55	それをこのヒューム管の温度の評価に使うのは、余りにも落ち着いて 100MPa、
0:22:04	下回るかっていうとヘルギーのところて厳しい条件、厳し過ぎる条件ですので、今回そういう 3 次元のモデルで評価をしたと、融度のとり方を どういうふうにとってるかという。
0:22:16	考え方のちょっとが間違いがあるということでございまして、除熱解析の方の評価についてはそれはそれで
0:22:27	適度に保守性を見込んでコンサバな評価をしているということでこちらの被覆管の方につきましてはですね、そこを余りにも保守的すぎる条件をもう少し合理化をして、
0:22:40	評価をしたということでございます。なおですけれどもこの参考と書いている評価の最高温度はですね、例えば 200、1077 年度で書いている温度がありますけれども、
0:22:53	この温度を直接使って非封緘の温度をこの温度だけを使って評価をしているのではないですね。はい。13 ページの DIVI-アノ、
0:23:05	その範囲のある領域の一番温度高いところで、この最高温度になるといふことでそういう意味で最高温度と、括弧書きで、333 項と、
0:23:17	いふふうにして書いてがそういう趣旨で書いてございます。
0:23:20	以上です。
0:23:25	この
0:23:26	ここで記載いただいている温度っていう、
0:23:30	何を示して、
0:23:33	14 ページに示していただいた。
0:23:35	3 号って書く入ってますけども、要は一つのドキュメントの中に一つ一つの申請の中に出荷最高で二つある。
0:23:47	あれば、しかもこれ、この評価にしちゃって相当精緻な評価された結果というふうにはこちらは受け取る。
0:23:55	ます。
0:23:56	であれば、この運動を整理する。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:59	することで何か問題があるんですか。
0:24:03	要は、片一方はそうかもしれないけども、その
0:24:06	除熱解析で出した。
0:24:08	先ほどご説明いただいた、255 度っていうところがようと一体なんですかということなんですね。
0:24:16	だけど実際の評価っていうのは、旧患の今度、そのある別のやり方、3次元の精緻な状態。
0:24:24	ということで、その時のMACCSがこれになりましたっていうことについてもこれ最高温度が違う。
0:24:32	当然それに対して、
0:24:34	もともと除熱解析ややられたやつは、
0:24:37	こういうその軸方向のやつがある程度断言されてるとかですね、非常に厳しい条件でやられてる。これ、
0:24:44	要はその
0:24:46	この 255 度にもこだわる必要ないんじゃないですかっていうことをちょっと申し上げ、
0:24:52	だから除熱解析についても今回はいいなったことで、そこを、その多分変わるところっていうのは、
0:25:03	被覆管の温度だけですよね。あとは、例えば全体の発熱量としても、最大の設計発生熱量っていうのは当然、
0:25:11	だから、
0:25:11	バスケットのオンダ変わるわけで、
0:25:14	理事の
0:25:16	休暇の最高温度っていうその指摘事項オクが、
0:25:19	その出し方が
0:25:25	トランスニュークリアの下条です。とですね、
0:25:29	除熱解析の方で、
0:25:32	評価の最高温度、この 3 次元モデルで評価した結果を書くということになりますと、
0:25:39	その他の例えば銅の最高温度ですが、
0:25:44	いろんなガスケットの領域、いろんないくつか
0:25:48	領域、
0:25:49	評価をしています。
0:25:51	ので、それらすべてを、もうすべて 3 次元モデルを使った評価を、に切り替える。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:59	ようにしてはどうかというふうではないんですか。でもそうするとですね、 そうであれば、被覆管の評価だけを 3 次元モデルでやった結果を、
0:26:10	出して、その他の部位の評価温度二次元の組み合わせの評価で書くとな りますと、何かその除熱解析で使っている評価モデルがですね、
0:26:24	二つ 2 種類、何かこうあって、それぞれ何かこう評価部位によって、2 種 類のモデル、評価方法をなんか使い分けてるっていうふうに、
0:26:33	いうふうに思う。そういうふうに思うので、
0:26:36	アノっていうのはアノですんで、そういうふうには我々考えてましてその 除熱解析のほうの補足説明資料で評価しているのはあれはあくまで、 ある保守性を見込んだ、
0:26:48	一連の評価結果であって、こちらの被覆管の温度のここの評価というの は、被覆管の温度を評価するためだけに、スペシフィックに詳細なモデ ルで、評価をした結果ということですからそこはちょっと
0:27:01	我々として切り分けて、分けるというふうに考えたんですけども、そこ がね、今、
0:27:09	いただいた、
0:27:11	逆。
0:27:13	前回のね、
0:27:18	から、
0:27:19	どこがどう違うのかなと。あれは、ある現実的な発電資料に基づいてっ ていうことでまず最初、検討されたっていうのが、
0:27:31	前回とか、審査会合前のご説明だというふうに認識した。
0:27:37	今回はそのアノ時に審査会合とか何とかでも、
0:27:44	それはヒアリング等でもですね、
0:27:47	要は、あくまでもその 250 クラタ制ならば 255 度に基づいて評価すべき じゃないんですかっていうことを申し、
0:27:55	要はその 255 度の出し方っていうところで、要は、
0:28:01	それは燃料集合体だけの温度ですよ結局、
0:28:05	他のところっていうのは、例えば今、
0:28:08	これはこれのためにとって出されたんだ
0:28:12	今、本田伊井のさ、例えば所、
0:28:19	その全体モデルから解いてそののある断面についてこう厳しいと。
0:28:23	いうふうな、
0:28:24	アシダと。
0:28:26	で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:27	であれば、ここに 155 でやってくださいって言わざるをえなくなる。
0:28:32	もし下条さんのね、今の御説明の、
0:28:38	要はこれ用にはこの温度使えますこれ用にはこの温度を使いますって いうのは、
0:28:43	要は除熱解析の結果を、結果として、要は何か妙にコウ。
0:28:48	どういう使い分けなのっていうふうな感じに見えてしまうんですけども、
0:28:52	ちょっとその辺がね、ちょっと、
0:28:54	こちらとしては、なかなか理解しづらいなっていうこと。
0:29:00	いや、逆に、
0:29:04	私だけがそう思ってたから、
0:29:15	もう一つ気はその 255 度っていうのは何のため、その使い道ってのは 逆に、何になります。
0:29:24	燃料被覆管の制限温度が今 270 度。
0:29:29	というふうに設定しています。その 270 度という制限値を満足するか どうかを判定するための評価温度が 255 ということです。
0:29:41	じゃ 255 度になり得るんですね。
0:29:50	おっしゃったら、
0:29:52	255 と、Tnシモジョウですけど 250 ゴトウになるっていうのは、その繰り 返しになって恐縮ですけども、わかります。はい。そういう、
0:30:01	ある。
0:30:02	いう方法で、
0:30:04	保守性をもっと保守性を見込んだ評価をした場合に、255 度になる評価 結果からなる安全側に評価をして 255 度になるということで、
0:30:14	あって、二つ、もちろん解析の評価方法が違いますから、数字は二つ出 るんですけども、それ解析方法の保守性を見込み方の違いっていう ことであって、
0:30:26	何か二つの数字があってどちらが正しいとかどちらが何かおかしいとか 間違ってるとかそういうことではないという、私は二つアドボカシー、
0:30:36	最高温度って言ってるんです。
0:30:41	TAーオクムラですけども
0:30:43	あくまでもこちらの方は参考って書いてますけど、これ直接的にどうこう っていうことではございませんので、表から、むしろこっちを削除する方 が、
0:30:53	いいのかなと今お聞きして思ったんですけど 255 度につきましては、直 接的に制限温度と比べています。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:03	で、こちらの参考温度は、あくまでも、いろんな軸方向の温度の分布の中の1点、最高温度でしかないので、直接的にここに載せなくてもいい温度ということにはなるかと思えます。
0:31:20	ちなみに、255度はずねバスケットの最高運動がありましてそれを全、バスケットの内、内周面全部が同じ温度の最高温度。
0:31:32	で一定値ってというような
0:31:35	設定で求めた温度ということになります。
0:31:40	これは二次元ですよねだから軸方向の軸方向に例えば、
0:31:45	3600ウダ幾つあるっていうモデルではなくて、そんな風、まあ、そのある非常に高いところの、
0:31:52	要はそのピーティングタイピング考えてさらにそれに裕度を見た破損事業のある断面について、
0:31:59	こういう所を全部断熱したらこんなになりましたっていう。
0:32:05	話だっていうのは理解しています。だから、その除熱解析のやり方で、
0:32:11	今言われてる除熱の温度が200、255度っていうところは、
0:32:16	全然こちらとしてそれがおかしいとは全然それ使うのは、非補修だとか、
0:32:22	やり過ぎっていうことがあるかもしれませんが、
0:32:26	それを、それを否定するつもりは全然ない。
0:32:29	ただ二つあることが気持ち悪いってということだけなんですね。
0:32:34	でも自分とか悪いって全然ってないんすよ。そこは誤解しないでくださいね。アピールシモジョウですはい。そこは私は先ほどちょっと失礼な話の仕方がちょっと、
0:32:45	誤解を招くような説明で、すみませんでした今ちょっと奥村の方からご説明させてもらったように、ここの書いているこの表の中に書かれている最高温度を直接的に内圧の評価に、これだけの温度、これを
0:33:00	一つの温度だけを使って評価してるわけではないので、なので、ちょっと二つの数字が表に出てきてその整合性というか、何か二つ温度があることが、
0:33:11	何か後期への置きにかかるということでしたので、この評価の表から、最高温度参考っていう欄を、
0:33:21	し削除させていただく。
0:33:24	北井。
0:33:25	ふうに思いましたけれども、いかがでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:34	規制庁の瀬野です。そこは多分、今、解析やられた設計からすると、おそらくあった方、
0:33:41	としてはわかりわかりやすいんだらうと思うので、あった方がいいと。
0:33:46	そう。
0:33:48	その1人としたら、思う。
0:33:50	一つは
0:33:52	155度は一番高いと。
0:34:02	同じ評価体験。
0:34:13	普段の制限値の近藤とあとは鶴。
0:34:24	違う。
0:34:38	ウノが、
0:34:40	が、層理としては、
0:34:42	スミエと。
0:34:56	要は、
0:35:08	すいません繰り返しになってきてて、お答え
0:36:09	Tnシモジョウさんの確認ですけれども固定資産のご意向としては皮膚科の最高温度が2種類、別の資料で2種類あるっていうのがちょっと気にかかる。
0:36:22	いうこと。
0:36:26	除熱通で、
0:36:30	田野さんのご意見は削除するよりも参考温度であつてもどのぐらいの
0:36:37	温度に温度で評価しているのかっていうのが、目安としてあった方が、
0:36:43	理解しやすいだらうと。
0:36:45	ほぼ、コメントだ
0:36:47	と思いますんで、
0:36:50	除熱のほうの補足説明資料で、
0:36:54	非封緘の温度、他の温度は今の現状のまま、その2次元の輪切りとか、全体モデルにイケダ輪切りとか、
0:37:04	ああいう組み合わせの評価はそれはそのままにして、
0:37:09	燃料被覆管の温度の評価については、ちょっと
0:37:15	別紙のような形で、こういう3次元モデルでこういうふうに合理的に評価をしましたその結果が、ここに書いてあるとの結果ですと、
0:37:23	いうので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:25	あくまでもその皮膚科の最高温度というのはその一連の資料の中で、こちらの資料では 255 度でこちらの資料では 204 等でとかっていうので、何か、もちろんその考え方、
0:37:40	してる。
0:37:42	やはり一つの、
0:37:45	私の申請書に、
0:37:50	たとえ、先ほど、
0:37:52	シバタサンポとかコガは、はい。
0:38:00	これでやったらこの温度になりました。これ。
0:38:04	のは、
0:38:05	ちょっとなじまないです。なじまないっていうか、全体のところでね、それじゃそのエンドウノモって一体何なのっていう話になって、
0:38:38	じゃあ、すみませんあれ。
0:38:40	どうぞどうぞ。
0:38:42	今の新しい、この参考値を、もう除熱解析の値にしちゃえばいいし、しちゃ駄目なんですか。
0:38:52	私は、
0:38:55	TNシモジョウです今ホデさんのコメントは、そのようにそろえて、
0:39:02	床の最高温度というのは、Aの資料もBの資料も一本化して、同じ温度、
0:39:09	の結果、評価結果としては一つですと。
0:39:13	いうふうにした方が、良いというコメントですね。はい。そう理解してます。どうぞおっしゃったじゃない。
0:39:21	んなら動き、
0:39:25	要は被覆管のその長期健全性を判断する上で、
0:39:29	イナダの勝何とかっていう、
0:39:33	別に、
0:39:36	この時はこの温度を使いましたっていうこと。
0:39:39	ということでは何か評価の一貫性っていうこと。
0:39:45	別にどっちも 2 ナゴを下回ってるんだ。
0:39:50	俺たちはちゃんと除熱解析やってんだよ。
0:39:54	ここまでやってんだよ。
0:39:56	さらに細かいことをやってここまで
0:39:58	こういうものをやって遊ぶ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:27	本当は角樫本ですコメントの趣旨は理解いたしましたので、除熱Ⅱの補足説明資料の方のユフカノウどう。
0:40:38	こちらの、
0:40:40	3次元モデルで評価した温度を、に入れ替えると。
0:40:46	その他の温度はもう現状のままであって、ちょっと説明の資料の構成はちょっと詳細は考えますけれども、今ここの説明で説明しているような3次元モデルの考え方っていうのをちょっと
0:41:02	別紙のような形で飛ばして、その燃料評価等については、別紙ナンバーの、評価結果から、この2として評価をした結果であるというような形で、
0:41:13	補足説明資料の16の評価の除熱の補足説明資料の方の方向性を、
0:41:21	ちょっと見直す方向で検討をいたします。
0:41:26	はい、松野ですけど、ちなみに、今除熱のほうで、少しこの辺の3次元モデルの
0:41:35	解析結果も、
0:41:37	資料の見直されるとのことですけども、
0:41:41	これまでの許認可実績で、被覆管の3次元解析って、
0:41:49	トランスニュークリアもしくはその他のキャスクメーカーでやられた実績って、
0:41:54	あるんでしょうか。
0:42:11	家のオクムラです今回のこの3次元のモデルも、
0:42:17	燃料棒それぞれ1本ずつを3次元でモデル化しているものではなくてですね、あくまでも切りと同じように均一化したものが3次元上
0:42:28	てで、
0:42:29	バス、
0:42:31	分くう参事、要は次軸。
0:42:35	方向に分布してますよね。そのうちの松井所の一番タテアノ
0:42:39	温度の高いところを取ってきて燃料モデルという二次元のものでもう1回時直してるも結果なんだ。
0:42:47	ですんで
0:42:50	そういう意味でいくと、2次元の組み合わせが3次元化と言いながらも、燃料棒に関しては、2次元モデルで解いていますと、それは多分他社も、
0:43:04	それじゃ新しい知見ではなくて、これまでの許認可実績の知見を踏まえて、3次元モデルで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:13	何かその辺をうまく、
0:43:15	説明しないと、
0:43:18	こちら、どこまでどの程度どの深さで、
0:43:22	審査で確認するかっていうところも、
0:43:25	必要になってきますので、
0:43:50	TNシモジョウですけれどもTK26 呉のサイト外形像の審査の時の除熱の資料で、同じように、
0:44:01	元のベースは同じなんですけども今回やってます、3次元のモデル、これ
0:44:07	今その二次元の組み合わせで評価した温度の保守性といいますか。
0:44:14	確認する意味で、その3次元
0:44:18	のモデルで評価した結果っていうのは
0:44:22	スマホ、
0:44:23	別紙というか、除熱説明順調に進み方の説明資料補足説明資料の別紙のような形で、
0:44:32	FRの最大貯蔵の審査資料でつけたことがあります。あくまで表の評価結果としてはその2次元の断面の組み合わせの評価結果で、その補正を確認するための
0:44:45	バックアップの説明資料という位置付けで、載せた掲載させてもらった。
0:44:51	もらっています。
0:44:55	そのあたりは何か、
0:44:57	丁寧に何か比較しながら、
0:45:00	どこまでが同じどこまで違うのかっていうところを少し明確しながら説明はできるんでしょうか。
0:45:09	当ディー・エヌ・エー奥村ですと足説明資料の中に3次元モデルと二次元モデルの違いですモデル化の違いというところで表、一覧表にして載せてたというふうに記憶しています。はい。
0:45:24	あと資料もちょっと活用しながらその辺りはちょっと丁寧に説明
0:45:30	承知しました。
0:45:37	規制庁岩佐です。
0:45:40	今日のヒアリング、フューチャーヒアリングの中で一番大きな論点と何か手法揚力度100MPaを超えるか超えないか、前回超えてるんでどういうふうにしますかっていうのは、
0:45:52	審査会合で別途また取りますよという話がありましたと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:57	それに対して3次元モデルを使って、衛藤やることで保守性をかんがみても、100を下回るということを、
0:46:07	今回審査会合でかけたいということなんですよね。それにあたって、温度が違うものを使って、やり始めると、さっき審査官の方からありましたけれども、
0:46:20	そこだけのために、違うやり方をやって、
0:46:24	うまくすり抜けようとしてんじゃないかと対外的に見られてしまうと、おかしくなってしまうということもありますので、
0:46:32	やはり、温度なりの設定については同じものを使うということで今、事業者サイドもそれでやってくと、一方において、すでに許可、
0:46:43	で出ているもので3次元やってるものがあるという話ですから、そこは2次元プラス3次元のところも見さしていただきながら、ちょっとどれぐらいその評価をするのに時間かかるのかはあるんでしょうけれども、
0:46:57	そこも含めて、同じ土俵の上で、説明ができればですね、我々内部的に対外的にも、そのところで、ここ、
0:47:07	今回の使用力のところだけ、
0:47:10	うまく抜けようとしてやってるわけではないですよと、より精査な、3次元の方でもちゃんとやったところ、十分そこは中に入っているということであればですね、そういう説明ができると思いますので、
0:47:25	一方だけここだけやりましたっていうと、何か、
0:47:28	ちょっとあやしいんじゃないというふうに対外的に見られがちなのでそこはちゃんと確認をしたいなというふうに思いますし、
0:47:35	あと申請書補正が押されて、ちょっと入れるタイミングなりその条件を背制限かけながらやるということですので、そこも含めた上で、申請書、
0:47:47	補正が必要であれば、必要な記載をしていくとともに、補足資料、補足説明資料についてもそこも適切に、
0:47:56	記載をしたい。
0:47:57	お願いしたいというふうに思います。以上です。
0:48:01	何かありますか事業所、
0:48:04	てのシモジョウです。
0:48:07	先ほどからのコメントの趣旨は理解いたしましたのでその方向で、はい。見直し。
0:48:13	検討させていただきます。
0:48:16	以上です。
0:48:18	情報ですけども、二つ目なんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:23	スタートでも、本文でも問題がある内容なんですけども、10 ページのところ注のところで、
0:48:31	ね、
0:48:33	安かったで
0:48:42	これについては、
0:48:47	この文献の中で、そういうことあるのかなということで、こちらも、
0:48:52	その中でいろいろ装置、
0:48:57	して、
0:49:01	確かに、いわゆるここで言う、
0:49:05	職業。酸化被膜分を削り取ったような試験をやりました。
0:49:13	で、
0:49:15	データ整理するときには、
0:49:16	所定の、
0:49:18	所定の未照射段階の
0:49:24	そこに保守性を持たせるという
0:49:29	この百名PASCALを定め、
0:49:31	ですよ。
0:49:34	なんですけれども、そこで、
0:49:38	呉呉。
0:49:39	だからいらぬという話になるのかというのはちょっと別のよな、
0:49:46	というのは、
0:49:48	ちょっと読みきれてないんですけども、担当者から聞いても、
0:49:53	高木八鍬。
0:49:54	削り取ったよって話はある。
0:49:58	具体的にこの数値自身がどの程度さっきまで、
0:50:02	報告書で書いてあるのかなというところはちょっとありません。全然何か書いてありました。
0:50:09	西森です。
0:50:12	当時のJNESさんの報告書の中で、中間のその酸化皮膜についてどのように考慮して評価をしていたかというご質問ですか。
0:50:21	こちらで確認した後のいろんなその百名PASCAL以下っていう制限値を評価する上で、皮膚科の
0:50:32	何て言いますかね、いろんな試験、推測西郷が生じて、機械的毒性が落ちるか落ちてないかっていうのを、いくつかの指標でね、
0:50:42	審査部のアノは移行係数とか

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:46	或いはそのうちの1ですね、扁平率の
0:50:51	ハタ扁平率とか、そういう遠征に相当するようなチーフだったりそういうので、評価をされています。その時の
0:51:03	応力を評価する時の、実際のそのグラフで、データ整理をされているんですけども、
0:51:12	その時のグラフを作る時のデータ一つの実験データの
0:51:18	ニワアノ週間の腐食を考慮した厚さで評価したグラフを作って、
0:51:26	一斉にデータ整理されています。ですから実際の評価をする上では、その当時のレポート、報告書の中では考慮した実験データを使って評価をしていくと。
0:51:38	で、評価した結果そういう被覆管の厚さの腐食厚さも考慮したデータ整理をされた上で、最終的な
0:51:48	制限値としましては、交渉力の100MPaを以下であることというふうに、結論、
0:51:59	総括されているということでございます。あくまでも試験データは、考慮したデータ整理をされて、その結果として、交渉量で100MPaであれば、機械的特性が、
0:52:11	低下しない、推測最高によって特性が低下しない条件であるというふうに結論付けられています。以上です。
0:52:19	ですから、
0:52:20	試験のデータを、試験は、ある程度
0:52:26	少なく、
0:52:30	それを、
0:52:31	今焼き直したっていうところは、どちらも
0:52:36	で、
0:52:38	ちょっとだから、
0:52:40	っていうところはちょっと
0:52:41	それでも、完全に非補正がとっぱらた結果かっていうところはこちら
0:52:51	で、これも
0:52:54	私だけじゃなくて、当時の今の基盤関係の専門家の1人、
0:53:00	して、
0:53:01	要は、あくまでも最終的に、いわゆる、
0:53:06	プラントにおいて、許容される減肉量、
0:53:11	パーセントですよ。
0:53:12	これは何がし、確認しておいた方がいいですねと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:17	というような意見をもらって、
0:53:21	なんで、今の値でも 10、ある程度入ってるという
0:53:28	形に保守評価という
0:53:30	ことで、
0:53:31	特に今の答えを変えてくださいと言うつもりは、
0:53:34	もう言うつもりもないんです。
0:53:36	主任として、
0:53:38	例えば、
0:53:40	10%
0:53:44	ただし、
0:53:45	そうだって今の温度で 1055 の温度を見たタダでも厳しい。
0:53:50	また、
0:53:54	こうなってしまうところもあるんで、
0:53:57	先ほどその現実な評価とは言いながら、この解析には発生するとして、
0:54:04	前回のご説明のレジの説明とか何とかで、要は全体の
0:54:09	温度評価については 10%が発生するというとか。
0:54:13	持ってるっていうことは、これ我々も認識してるんで、そういうところはおもう、逆に言うと、
0:54:19	どちらかというと裕度の確認という、
0:54:22	実際ここまで考えても大丈夫、大丈夫よということ、一応、
0:54:27	確認した結果を、
0:54:31	示していただければいいのかなという
0:54:36	だから、
0:54:37	中間の厚みは薄くなるかもしれないけども、
0:54:41	今度は、要は、
0:54:43	削ったやつを交渉にしたら、それはある程度それは効果がある。
0:54:49	それがどれぐらいかわかんないんであれば、
0:54:51	1 回減らもうそ
0:54:53	今のケースで例えば、
0:54:59	もう大丈夫よ、1077 だったら今の温度で例えば 10%でやってもこれはもう、そうだなってわかる。
0:55:06	D1055 は、これ厳しそうだねっていうのも、これは、
0:55:09	理解してます。
0:55:10	ただ、あくまでもその温度の温度の条件でその 10%で今決められた温度にしても、あくまでも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:18	その閾値で定められてるところの温度の決め方っていうのは、
0:55:31	どう考えなさい。
0:55:33	考え方で、
0:55:44	こちらとしては、
0:55:48	Tnシモジョウです。ちょっと確認ですけども、まずは、この評価はこれとして、一つありますとそれはJNESの報告書の評価の仕方と整合性になったものであると。
0:55:59	いうことは、ご理解いただいと。
0:56:02	それはそれとして現実的な条件、具体的な習慣の腐食が減肉がある条件で評価すると。
0:56:12	どういう能力になるのかっていうのを評価をすると、その場合は今の今の評価方法で、評価条件であれば、
0:56:23	1055 燃料については百名PASCAL以下というのは、
0:56:27	きっと厳しい。
0:56:28	十分結果がになるだろうと。その場合はピーキングファクターのその発熱の裕度とかそういうところの考慮も、そういうところも切り詰めて、もっとその評価条件も現実的なものにすれば、
0:56:43	100MPa以下になるかどうかというような、
0:56:47	ということでそういうふうな評価をして、現実的なヒュー管の応力の評価をするのであればその発熱量の制定についても、もうちょっと現実的な条件で、コンペンセートでして、
0:57:00	100 のパスがいかにあるかどうかっていう、
0:57:03	ことですよね。
0:57:05	ちょっと到来はしてみますが、もしかしたらその場合でもその百名PASCAL制限値を満足できない可能性は、
0:57:16	ありますので、その場合ですけども、
0:57:22	その場合ですけども、
0:57:25	そう。
0:57:26	例えばもっとJさんの報告書が箱許された後の文献を参考文献にして、
0:57:36	寄付金納、それでもいいですか、条件、例えば、今ここまでミキってないっていう、先ほどこちらの状況をお話し、
0:57:47	しましたけども、例えばそこで、
0:57:53	5%ぐらい出ました。
0:57:55	であれば、
0:57:56	場合は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:02	の考慮もして、
0:58:04	それが例えば
0:58:09	はい。ですから
0:58:12	温度、
0:58:13	具体的にはその百名PASCAL、もしかしたら超えるかもしれませんがけれども、もうちょっと新しい知見も踏まえて、温度が実際に 175 度よりも実際オンダ 250 度ぐらいで、もっと低いので、
0:58:28	低い場合は 100、100MPaを若干超えたとしても、アノー再配向青が起こらないと、秋葉です。
0:58:39	あくまで、
0:58:42	山はワード、今の、
0:58:44	1515 年度の方はですね、55 燃料の方についても、多分その 1.1 っていうのは、当然、
0:58:50	念頭に置かれた上で、もう考えられている。
0:58:53	表でいいですよ。
0:58:55	1.1 と申しましたけど発熱量の熱解析の考え方は、
0:59:01	踏襲された上で、200、ここで出されたグラフ。
0:59:06	本とか 200、ここで出されている 14 ページかなんかで出されてる温度と同じ位置付けで出されてると思って。
0:59:13	はい。
0:59:15	はい。除熱通解析の発熱量の設定条件を全く同じ条件で、3 次元の評価をしていますので、はい。
0:59:25	その通りです。
0:59:27	だからその辺のデータが、ある程度、
0:59:30	いろいろ調査されて、JNESのレポートで読み込んでいったら、
0:59:39	だからあくまでもこちらとしても、
0:59:42	その辺はあるけどどこまで行ったかわかんないよっていうふうな、どこまで実際のモデルっていうのが、
0:59:49	確実に肉は減ってるけども、例えば 10%減ったものに対して、これをせいんですよ、こちらも、そうですねって、これはプラントでやってる、もう、
1:00:00	最大の減肉量を考慮した評価まで行き着いてますねっていうことは理解できるんですね。
1:00:07	だからそこはちょっとわかんない。ただそこは非常に感度が高くなってくるので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:11	そのの、
1:00:13	その酸化爆発って、確かに主要抗力を出すときのその単独の値で分母に来ちゃうから、
1:00:21	RoHS2%と10%増えてくるんで、非常に感度が高いんで、その辺は当然、その試験の結果を踏まえてですね、その辺は、現実的な考え方を構築いただいて、
1:00:37	はい。ちょっと検討。
1:00:39	いたします。
1:00:41	はい。
1:00:44	先ほど言いましたように、10%あちらが10%だ。
1:00:50	試験、
1:00:51	はい。
1:00:52	ということであれば、
1:00:54	その通りですよということで、それはもうそれで、それ以上言うことはない。
1:00:59	はい。
1:01:01	ちょっとPNC模様ですけどちょっとやってみないとわからないと、もう藤さんおっしゃる通りで皮膚科の肉厚が10%薄くなると、応力は10%上がる。単純計算で否定的に上がります。
1:01:16	温度については、そこまで感度がないので、ないのでちょっと発熱量の誘導を切り詰めたとしても、被覆管の元にくう2をコンペントする、カバーできるだけの
1:01:32	効果があるかどうかちょっとわかりませんので、
1:01:35	ちょっとそこは確認して、場合によっては、温度と応力の組み合わせということも含めた説明をさせていただくかもしれません。はい。以上です。
1:01:46	私は、
1:01:51	規制庁マツノ。
1:01:53	ちょっと私なんか1点確認なんですけども。
1:01:58	資料の、
1:02:00	日野新野。
1:02:03	市野市野。
1:02:04	この14ページ目で、先ほどからちょっと話があったこの
1:02:09	被覆管最高温度の(3)コウノ、
1:02:12	17燃料と15燃料の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:16	本当の辺りなんですけども、
1:02:19	これ 15 燃料の方は 3 次元解析キーで行った値で 17 年度の値は、これ 3 次元解析を行った値ではない。
1:02:30	という理解で。
1:02:31	よろしい。
1:02:32	両方とも 3 次元解析を行ったらいですか。
1:02:38	ITAのクボなんです。
1:02:40	どちらも 3 次元解析を行った結果です。
1:02:44	ちなみにヒアリングで、以前、
1:02:48	17 燃料は 100MPa超えないけど 15 円量 100MPaを超えてしまう時の温度は、今の除熱解析から、
1:03:00	ピーキングファクターコウハタ。
1:03:03	236
1:03:05	そういう値があって、
1:03:08	何かこの値だけ見ると、
1:03:10	かなり、その 15 年度と 17 年度はその 3 次元解析結果の値が、
1:03:15	かなり差が開きがあるのかなと思うんですけども、
1:03:31	そりゃそ、そういうものなんでしょうか。ちょっとそこは素朴な疑問なんですけど。
1:04:22	はい。金石本ですいません 10771055 のオオモトの
1:04:30	その元になってる 3 次元モデルっていうのは、実は同じものからやりますそれ
1:04:40	すいませんちょっと訂正します。1077 燃料と 1055 燃料の 3 次元モデルで与えている発熱量がそもそも、
1:04:52	違います。
1:04:54	ていうのは、17 年度は従来、今まで熱解析やった条件そのまま、
1:04:59	15 燃料の方は今回の皮膚科能力は超えないように、発熱制限を
1:05:07	与えた条件で、3 次元モデルの
1:05:11	8 年所与えてますので、
1:05:14	ですからもう全体その 3 次元モデルの状態からも、キャスク全体の発熱量をぐっと
1:05:20	抑えた条件の温度ですのでこれだけ低い本当に、
1:05:26	なってるっていう、そういうことです。
1:05:28	その辺りのサノ最近は発熱用の差異から来てる温度の差異っていう、そうです 1077 燃料と 1055 燃料を含む場合は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:39	15 条燃料が大分今回発熱の制限でコウされてますので、その結果温度も、こういう、かなり低い事になって、
1:05:48	評価結果が出ていると、そういうことです。わかりました。はい。どうも。
1:05:56	何か確認。
1:05:58	質問ありますでしょうか。
1:06:03	櫻井さん、何かありますか。
1:06:10	すいません私さっき、
1:06:12	ここで聞こうと思ったこと言っちゃってましたね。
1:06:15	すいません。
1:06:19	わかりました。
1:06:22	はい。規制庁、私もはい先ほど確認できました
1:06:29	では、100MPaの件についてはこちらからの質問確認事項は以上となりまして、このコメントNo.の 9 の
1:06:40	QMSの話なんですけども、
1:06:43	資料の 15 ページ目に回答があって、
1:06:47	書かれてあるんですけども、
1:06:50	発生事象の発生原因については、
1:06:56	わかるんですけども、
1:06:58	これ、会合の場でも指摘したかと思うんですけど、
1:07:06	今回のその発生原因を踏まえて、
1:07:10	社内のQMS上の文章、
1:07:13	もしくは体制がどう見直されたのか具体的に、
1:07:18	説明すべきかと思うんですけど。
1:07:21	そこで多分(5)の是正措置の中で、
1:07:26	設計条件を設計、
1:07:29	開発文書で発行するなど確立錦べし管理することを明記し、改定する。
1:07:36	この一文で、
1:07:38	文書は見直したっていう。
1:07:41	理解。
1:07:43	体制は特に変わらずに、
1:07:46	という理解ですか。
1:07:48	アラシバシモジョウです。はい。ここの加古今おっしゃった通りで 5 番の是正処置で、そのQMS上の対策ですね。
1:07:59	今回の発生原因というのが社外から外部から提示された設計条件というのをしっかりと文書管理ができていなかったと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:08	というのが原因だというふうに
1:08:12	考えておりますのでそれに対する対策として、
1:08:16	今、5番の清処置で書いてあるような、
1:08:21	文書管理について、明記して、その
1:08:25	管理規定を見直す、改定するという対策をとることにしたということでございます。社内的な体制というのは今までやっている体制を何か置き換えるとかいうことではなくて、あくまでも同じ体制の中で、
1:08:39	やるべき、規定した設計を、業務の中の管理規程の見直しをして、今後、再発防止を図るという趣旨でございます。
1:08:56	この辺りはどう、何か日一行で書かれちゃって具体的に文書がどう変えてそのチェック体制がどうなってるのかっていうところは具体的に説明すべきかなと思うんですけども。
1:09:11	もう今後こういう、
1:09:13	事象が、
1:09:15	発生しないよう、確実な
1:09:18	文書の見直しと体制ができてるっていうところは、
1:09:22	ある程度、
1:09:23	このパワポ資料の中で、
1:09:26	説明すべきかなと思うんですけども、そのあたりのちょっと具体的な内容がちょっと書かれてないので、
1:09:34	Nシモジョウです
1:09:36	文書の管理規程の見直す内容っていうのは社内的にはこういうふうに見直すというので、もちろん案は作ってありますけれども、その内容まで具体的にこのパワーポイントの説明の中では、ちょっと書くのは、
1:09:53	打っ差し控えさせていただきたいなというふうに思ったんです。
1:09:58	出資、こういうふうにあくまでもこういう趣旨で、改定する方、
1:10:04	内容を概要をご説明するという形でまとめ改定はされていないという理解ですか。これは改訂するんですか。今まだ改定した図書っていうのはまだ正式に発行はしていないんですけども、
1:10:20	どういうふうに変更するかという案を作って、改定する準備を進めているということでございます。
1:10:31	確実意識別で管理することを明記して、具体的にどういうことですか。
1:10:37	あとですね、
1:10:39	外部から出てきた今回のような、その外部から提供された資料を、具体的には、弊社の中の当初、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:49	機種表紙を、要するに文章を、会社の中で、ここ本件業務の図書として、表紙、
1:10:59	TNの表紙をつけて、図書を発行して、その中にその提供を受けた図書はつくんですけれども、そういうふうに社内の外部からもらった図書をそのまま
1:11:11	どこかで保管するんじゃないくて、社内の図書として、
1:11:15	表紙をつけて、図書番号を取って管理をすると。
1:11:19	そういうことをするというごさいます。
1:11:25	というようなことを、そのような内容を具体的にそのようなことにするというのをもうちょっと今話したようなことを書いた方が良いという、今回の事象を踏まえてどういうふうに、社内の中のQMSがどう変わったのかというところが、
1:11:40	あまり抽象的な言葉で、
1:11:43	イメージがわからないとわからないので、その辺りは少しイメージがわくように、少し、
1:11:49	わかりやすい表現で、具体的に書いたほうが良いと思いますので、この後にもちょっと、
1:11:55	資料の修正もちょっとあわせてお願いできれば、
1:11:59	ITのシモジョウ小路シマ下の、
1:12:01	はい。今ちょっと合成口頭でご説明したような内容を書き込むようにいたします。はい。
1:12:15	規制庁イワサです。QMSの話については審査会合で聞きますので、
1:12:20	最後の(5)、要は改善の方法、ミスは必ず起きるものですので、そこはいたし方がないところではあるんですけども、
1:12:31	やっぱり許認可を出した後、ここ間違っていましたということだと信用状況なり、その安全の、
1:12:40	担保という意味では非常に重要なところと我々組織としても思っていますんで、
1:12:46	もう少し具体的に書いていただきたいと、社内規定を書けとは言ってなくて、あくまでもそのダブルチェックをしました。年に1回はその最新情報であることをチェックするとかですね。
1:12:58	そういったその、より具体的に、改善が図られたということを審査会合で言っていたかかないと、同じことが起きるんじゃないのっていうふうに、
1:13:08	言われてしまうと、介護が止まってしまうということがありますので、細かい箸の上げ下げまで我々IIつもりは全くないですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:18	あくまでもその安全上重要な数値、
1:13:21	ていうのは結構重要だと我々は審議会を含めて思ってますので、それが変わったことに気づかなかったのは、何が原因だったのかをもう一度考えていただいて社内規定変えて、
1:13:33	いるのであれば、今後変えるのであればそういうところを含めて、
1:13:37	やっていただければですね、ハタ資金ところについては、通したとして、指定のところでしっかりそれができるかも含めてですね、確認していくってこと。
1:13:48	だと思えますんで、もう少し書いていただくことが重要かと思えますんで、ご検討ください。
1:13:55	ジンノシモジョウ承知しました。
1:14:01	その他確認したい点等ありますでしょうか。
1:14:07	私から二つ。
1:14:10	資料1の、
1:14:12	資料1-1の15ページの(4)番に、外部から提示された設計条件が正しく設定されていることを確認したってあるんですけど、
1:14:23	ちなみにこれ、
1:14:26	週報、
1:14:28	方向力の圧力と温度以外に、衛藤。
1:14:33	外部から入手する設計条件で、例えば何があるんですか。
1:14:38	アピールシモジョウです。例えばですね燃料関係の情報をですね例えば臨界解析では
1:14:48	品のモデルを
1:14:51	してるんですけども、被覆管の直径ですとか肉厚ですとかそういう、
1:14:56	燃料環境もニワな燃料関係の、
1:14:59	そういう条件とかですね、そういうのは、外部から提供を受けた条件で設計しているということです。例えばそういう条件が間違っていないかというのを今回も再確認をいたしました。
1:15:15	はい。わかりました。燃料データ以外には、
1:15:20	そんなないってことですか。
1:15:22	そんなグリグリするつもりないですけど何かこう書かれると他に何かあるのかなと思って。
1:15:28	て聞いています。
1:15:33	Tnシモジョウです。主には、
1:15:35	燃料に関連する

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:40	設計条件になります。
1:15:45	θ
1:15:47	じゃあと(4)の後半ですけど、あのサイト内貯蔵容器の設定と全く同じであるため、今回の不適合に関する対象とるってあるんですけどこれ多分、
1:15:57	あれですねもうすでにもらった型式証明の話ですよ。
1:16:02	ニイツシモジョウですはい。その通りです。
1:16:04	何でこれサイト内貯蔵ではなくて何だ、中間貯蔵。
1:16:10	RFSの話ですよ。
1:16:13	はいそうです。
1:16:14	記載多分サイトウないちようどって書かれるところの实用炉の話だと。
1:16:21	間違っちゃうのでこの記載多分その中間貯蔵の方だと。
1:16:26	いう記載に直した方がいいのかなっていうのとあと、
1:16:31	不適合に対する関する対象とるって書いてあるので、その貯蔵班にきちんと話しておいてくださいねという、
1:16:42	ことです。お願いします。
1:16:45	PN仕事です
1:16:47	4番のところでは、サイト外チヨウゾウサイトウ外貨サイトウ会長容器としての型式証明を取得しているかない。ただ今回の申請容器と同じ。
1:17:00	であるため、
1:17:03	ああそうかすみませんサイトウないって勝手になんない変化してましたサイトウ海田とRFSってことですね。すみません。はい。
1:17:11	これでもじゃあ貯蔵は言ったんですか。
1:17:14	いえ、まだ、こちらから、
1:17:19	説明には伺っておりません。
1:17:22	わかりました。じゃ、
1:17:25	ここの内での話が
1:17:28	方向性が決まったらってことですね。
1:17:31	はい。はい。
1:17:33	ありがとうございます。
1:17:41	コメントNo. 7と8についての、こちら側の質問、確認事項は以上ですので、
1:17:48	次の、
1:17:51	コメントナンバー、
1:17:53	No.5、No.6、7、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:56	それ以降じゃ説明はい。
1:17:58	土岐Nシモジョウですそうしましたら、資料 1-1 の 16 ページからになります。
1:18:04	16 ページの方はヒアリングコメントの 5-6 と 5-7 で、2 多様な同じ趣旨のコメントをいただいているというふうに認識してございます
1:18:18	中性子能検出器アノ 0m カウンターのサイズとかそういうのサイズの影響とか、測定の再現性とかそういうのが、MCNP コードの適用妥当性の判断にどのように考慮されているのかと。
1:18:32	いうことを、を追加してくださいという趣旨のコメントをでございます。
1:18:39	回答はここに書いてあります通りですが一般的にはレームカウンターメーカーの製品によって、形状が違ったり感度部の 9 アンドウまでの距離とか、
1:18:49	角度の依存性とかそういう影響が異なっています。受ける、受けます。受けてその条件ってのは、異なります。この今回ね、MCNP の提供妥当性について説明した Tn12 月。
1:19:04	DN12 の 2 型の輸送キャスクの文献、文献 1 ですけども、については、
1:19:11	この論文の中では、角度応答角度の依存性と、等、
1:19:18	検出器のサイズの影響っていうのはですねそれぞれ 20% 程度ずつ影響するということが考察されています。
1:19:27	一方で測定解析結果ですね、全体的にその測定値に対しまして、20% 程度を、中央部の一番線量の高いところではそれ以上の
1:19:41	上回った解析結果がえられていますので、その影響というのは解析条件の補正に包絡された、そういう結果になっているということでございます。
1:19:51	また
1:19:52	同じ参考文献の 1 では実測値としましては N-S2 の測定が行われていますので、測定数 2 ではありますけれどもそのばらつきを含めて傾向が一致していて解析値が上回っているということが確認されています。
1:20:11	参考文献の中で確認されています。
1:20:13	あと追加で参考文献 2 ですね、の方では、
1:20:19	アノ onFT 型の 38b と 14P の輸送キャスクの同じようなベンチマークの計算がなされています。その中ではですねその web カウンターのサイズ、コウコウノナカアノ。
1:20:33	ソフトウェアでは、11。
1:20:37	210 センチ受 11。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:41	10センチ約10センチだったと思うんですけども、10センチ位ぐらいのカウンターで、AMカウンターのサイズが考慮された計算結果が行われていまして、その
1:20:55	実測値との比較が行われてますその結果も、分布と傾向というのは設置していると、ということが確認されていますので、そういうwebカウンターのサイズの影響も考慮してMCNPのを、
1:21:10	計算結果の妥当性というのは、確認されているというふうに
1:21:16	認識してございます。そのようなここで書いてある内容を、遮へいの補足説明資料の方にも、追記をさせていただきました。
1:21:26	はい。引き続きまして17ページの下部トラニオンのメネジ側のねじ山の部分にシヤツ応力が作用するのではないかと。
1:21:37	4月応力の評価の要否も含めて検討することということでございます。この図ですれねちょっとポンチ絵のような図を書いてございますけれども、
1:21:49	明治の部分にかかる荷重を、
1:21:56	このような形で評価書いてございます。で、今回
1:22:01	メネジと同じの接触部の黒の矢印太いやつ、黒の矢印になると思うんですけれどもなるんですけれども、そこはシアツ応力、
1:22:12	というより、
1:22:15	圧縮応力っていうふうに考えるのが妥当であるというふうに、
1:22:19	こちらでは考えてございます。
1:22:21	で、その圧縮応力というふうに考えますと、協力としましては、3分の2S _u これ野瀬5件、金属キャスク構造規格の
1:22:32	共用を密封容器の供用状態Dの時の協力の規定値になりますけれども、その三分の2イシイを基準とした場合でも圧縮応力としては、
1:22:42	満足するという結果を確認してございます。
1:22:47	なおですけれども平均的なシアツ応力に対する協力っていうのは、同じく金属キャスク構造規格の方ではS _u になりますので圧縮応力に比べて、協力、
1:23:01	足圧力に対する協力っていうのは、もっと緩くなると、ということですので、4月と考えた場合であってももちろん満足するということでございます。
1:23:10	はい。またですけれども、補足説明資料をすでにご説明して補足説明書の方では、せん断応力、赤い部分がせん断応力の整備になりますけどその評価を、
1:23:23	を考慮しております、基準値は満足するということでございます。
1:23:28	はい。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:32	はい。
1:23:33	では質疑の方に移りたいと思い。
1:23:35	まず最初に、遮へいについて何か質問、確認等ありましたら、お願いします。
1:23:43	どうぞ。規制庁のゴコウです。16 ページ目の方なんですけど、
1:23:49	とかイトウに出てくる。
1:23:51	測定エヌス 2 ていうのが、
1:23:55	具体的な、何のことかってのはどこどっかに書かれていますか。
1:24:01	参考文献、トランスヨシムラアノサンポ文献の
1:24:06	中で、
1:24:09	取得で違う。
1:24:13	二つありまして、
1:24:28	メジャーメント 1 メジャーメント 2 という形で、二つの測定値が書かれています。
1:24:36	それを、
1:24:37	示して、それを
1:24:40	ここで測定すエヌスにというふうに表現してございます。
1:24:47	規制庁のゴコウです。
1:24:49	ちょっとそこまで遡らないとわからないのであれば、何の回答されてんのかっていうのが、
1:24:57	よくわからないので、
1:24:59	もう少しこれ、
1:25:01	これは何、何なんだっていうのを書けませんか。
1:25:13	すいません。もう一度、これ、具体的にという意味でしょう。
1:25:20	土佐参考文献を熟読せずともこの測定N数にっていうのがわかるように別の言葉で、
1:25:27	各国っていうことできませんか。
1:25:32	研修もです測定の数にという言い方ではなくて、
1:25:41	文章の表現の
1:25:44	仕方を、
1:25:46	変えた方が良くというそういう趣旨ですね例えば、即、
1:25:51	2 回測定されておりとかいうようなことでしょうか。
1:26:10	同じ、同じ測定点で、
1:26:14	測定値が 2 回あるということなんですけれども、
1:26:22	それを測定N数 2 というふうに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:25	表現、
1:26:27	文章で表現をいたしました。
1:26:30	最最初にこれをぱっと読んだときに、測定N数っていう何か専門用語があるのかなと思ってしまって、あ、はい。
1:26:38	す。その参考文献を読めばそれがは、
1:26:43	わかるの。
1:26:45	かどうかというの、
1:26:47	であるとか、
1:26:53	CIT西本sわかりましたの測定N数っていう言い方がちょっとあまりなじみのない、
1:27:02	用語であったということですね。はい、理解いたしました。はい。規制庁のゴコウです。具体的そそういう間感じなので、
1:27:13	ここの回答文だけ読めば、何のことを言っているのかが、
1:27:25	ここの道の専門家以外の人でも、ある程度わかるぐらいの表現で、
1:27:31	書いてもらえば、
1:27:34	とりあえずそれでいいかと思います。Tnシモジョウです。はい。承知しましたちょっと
1:27:40	言葉遣いが、あまりなじみのない用語を使っていたということのようですので、もう少しいいな、説明文章で、
1:27:52	書き換えさせていただきます。はい、承知は承知しました。
1:27:58	はい。規制庁のゴコウです。その点はそれでお願いしますけども、結局ここで回答されてるのは、
1:28:05	3、
1:28:07	参考文献として参照した先で、
1:28:10	今回、コメントしたような内容は、しっかり評価されていて、
1:28:15	他にも参考文献1と2と挙げてもらってますけども、いろんなところでそういう検討はされて確認をされているので、
1:28:24	MCNPコードの適用妥当性を考えるときにこの十全試験付のいろんな特性っていうのも考慮した上でいろんなところで証明されてますよっていう説明ということでよろしいですか。
1:28:36	はい。その趣旨を通りでございます。
1:28:40	はい。
1:28:41	はい、規制庁コウです。はい、わかりました。
1:28:50	何かありますでしょうか。
1:28:54	あとは、何か全体通してこちらから何かあれば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:00	はい。規制庁岩佐です。1 時間半にわたってヒアリングしましたけれども、
1:29:06	あと、今日の議題の中では、手法揚力の話。
1:29:12	を適正に、
1:29:14	してくださいねという話であるとか、
1:29:17	KSの話とか、
1:29:19	あと最後に出てきた、
1:29:22	特定無数の話とかを含めて、
1:29:25	なぜ
1:29:28	国民に対してちゃんと説明責任を負うっていう我々にはありますので、許可した瞬間的に、我々規制庁の文章に変わりますんでね。
1:29:37	どういうものなんですかどういうふうに審査をしたんですかっていうのは、事業者サイドも、自分のところで許認可をもらったものについて、答えられるようにっていうことで、
1:29:47	我々にもわかるように、基本的にはわかんない知らない人にも入るような文章にしていきたいと。
1:29:54	いう。
1:29:55	わかりやすく書くっていうそれは規制庁が国民から、ゆ求められて我々わかりやすい資料を別途作ったりしてるんですよPowerPoint。
1:30:05	そういったところも、事業者にはお願いしたいですし、
1:30:11	大きい論点としては先ほどKMSと手法の話ありましたけれども、その資料を直していただいて、あとは補正申請が出るでしょうから、その出す前には、少しどういった方向。
1:30:25	になるのかという書きぶりも含めてご相談いただければなというふうに考えております。今審査官から全体を通して、そういった指摘に対して反映が事業者サイドでできると。
1:30:39	いうことであれば、12 月 14 日の審査会合の議題として載せることを、また医長としては、
1:30:47	まあ、いいんではないかというふうに考えてまして、それに対して、審議官なり、幹部にも上げていこうと思いますんで、上げるにあたっては資料、
1:30:57	出張とか、年末に関係して我々の内部で上げるにしても、立て込んできてますんで、
1:31:05	資料の修正はいつまでというのが、
1:31:08	来週 29 日までに間に合えば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:12	議題の 2、
1:31:14	そして衛藤載っける審査会合に載せること。
1:31:18	検討いたします。議題の 1 は日立造船にはトランスにフルヤ。
1:31:23	3 番目がGNS。
1:31:25	という形に対応しますけれども、資料が間に合わなければ、
1:31:29	スキップするという形になりますんで、ぜひご協力をお願いしたいというふうに考えております。
1:31:36	以上になりますけれども、事業者側が何かありますか。
1:31:42	はっきりシモジョウです 29 日までに審査会合の資料を準備するという ことで承知しました。はい。念のため確認ですけれども、29 日に、
1:31:55	送付する資料は、
1:32:00	何時頃まで送付しないといけないっていうのはありますでしょうか。
1:32:04	その日のうち、ちょっと時間的に結構、家、
1:32:09	それはまずは電子データが電子データでは勤務時間内で、
1:32:16	こちらで受け取りとか確認して、周知も考えれば 551 ぐらいまでには、 データとして、
1:32:23	いただきたいっていうこと。
1:32:25	29 日。
1:32:30	午後 1、2 時ぐらいまでには、
1:32:33	メールで送っていただけたらと。
1:32:42	はい、わかりましたそれは電子データであとはハードコピーの資料の提出は、その次の日着でよろしいでしょうか。そうですね。
1:32:53	次の週麻痺、1 週間ハードコピー後 1 週間前ですね。承知しましたそれは全然問題ないです。はい。
1:33:02	わかりました。まずは電子データでNECさんの受け持ちの資料というのはその次の日着で送りするという ことで、
1:33:12	はい。衛藤。はい。
1:33:14	承知しました。
1:33:21	では、よろしければ、本日のヒアリングはこれで終了したいと。
1:33:26	お疲れ様です。
1:33:29	ありがとう。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。